

社会医学講座

予防医学分野

著 書

- 1 桧垣靖樹：運動時のホルモン分泌と作用機構。最新スポーツ科学辞典。第1版 55-56, 平凡社。2006。

総 説

- 1 田中恵太郎：肝臓予防のために何ができるか？。癌の臨床 52：9, 587-594, 2006。

原 著

- 1 *Mizoue T, Inoue M, Tanaka K, Tsuji I, Wakai K, Nagata C, Tsugane S: Tobacco smoking and colorectal cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. 36, 25-39, Jpn. J. Clin. Oncol. 2006.
- 2 *Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Wakai K, Nagata C, Otani T, Inoue M, Tsugane S: Alcohol drinking and colorectal cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. 36, 582-597, Jpn. J. Clin. Oncol. 2006.
- 3 *Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Wakai K, Inoue M, Tsugane S: Tobacco smoking and breast cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. 36, 387-394, Jpn. J. Clin. Oncol. 2006.
- 4 *Nishino Y, Inoue M, Tsuji I, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsugane S: Tobacco smoking and gastric cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among the Japanese population. 36, 800-804, Jpn. J. Clin. Oncol. 2006.
- 5 *Wakai K, Inoue M, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Nagata C, Tsugane S: Tobacco smoking and lung cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiological evidence among the Japanese population. 36, 309-324, Jpn. J. Clin. Oncol. 2006.
- 6 Hara M, Sakamoto T, Tanaka K: Effectiveness of influenza vaccination in preventing influenza-like illness among community-dwelling elderly: population-based cohort study in Japan. 24: 27, 5546-5551, Vaccine. 2006.
- 7 Sakamoto T, Hara M, Higaki Y, Ichiba M, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Tanaka K: Influence of alcohol consumption and gene polymorphisms of ADH2 and ALDH2 on hepatocellular carcinoma in a Japanese population. 118: 6, 1501-1507, Int. J. Cancer. 2006.
- 8 Sakamoto T, Higaki Y, Hara M, Ichiba M, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Tanaka K: hOGG1 Ser326Cys polymorphism and risk of hepatocellular carcinoma among Japanese. 16, 233-239, J. Epidemiol. 2006.
- 9 Tanaka K, Tsuji I, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Inoue M, Tsugane S: Cigarette smoking and liver cancer risk: an evaluation based on a systematic review of epidemiologic evidence among Japanese. 36, 445-456, Jpn. J. Clin. Oncol. 2006.

学会発表

全国規模の学会

- 1 原めぐみ：消化器がんの一次予防：飲酒との関連を中心にして．第28回日本臨床栄養学会総会，第27回日本臨床栄養協会総会(シンポジウム)，第4回代連合体会．東京．2006，9，2．Nutrition Week 2006 120.
- 2 原めぐみ，坂本龍彦，田中恵太郎：地域高齢者におけるインフルエンザワクチンの有効性研究—2003/04シーズン—．第16回日本疫学会総会(シンポジウム)．名古屋．2006，1，24．J. Epidemiol. (Suppl.) 16(1): 51.
- 3 原めぐみ，坂本龍彦，桧垣靖樹，田中恵太郎：慢性C型肝炎から肝臓癌の発生における食習慣の影響：症例対照研究．第7回日本がん分子疫学研究会・第29回日本がん疫学研究会合同学術集会．広島．2006，5，19．講演集 67.
- 4 今泉 猛，坂本龍彦，原めぐみ，田中恵太郎：肝細胞癌とDNA修復遺伝子多型(XRCC1 Arg399Gln および OGG1 Ser326Cys) の関連．第65回日本癌学会学術総会．横浜．2006，9，30．記事 521.
- 5 *森 満，和泉比佐子，坂内文男，小林幸太，桧垣靖樹，岡野五郎：加速度センサーでの身体活動量測定と身体活動と関連する要因の検討．第65回日本公衆衛生学会．富山．2006，10，25．日本公衆衛生学会総会抄録集 372.
- 6 坂本龍彦，原めぐみ，田中恵太郎：肝細胞癌発生リスクにおけるIL1 β ・TNF α 遺伝子多型と喫煙・飲酒習慣の交互作用の検討．第65回日本癌学会学術総会．横浜．2006，9，28．記事 105.
- 7 *相良朋子，真名子香織，久野一恵，桧垣靖樹，木村裕美，佐々木香苗，小野田敦子，土居達也，松元圭太郎，坂井龍雄，荒尾恵介：ケアハウス入居高齢者の栄養状態とそれに影響を及ぼす要因．第60回日本栄養・食糧学会．静岡．2006，5，19．講演要旨集 150.
- 8 *丹 信介，曾根涼子，桧垣靖樹：下り坂走の繰り返しがインスリン感受性に及ぼす影響．第61回日本体力医学会．兵庫．2006，9，14．体力科学 55(6)：679.
- 9 田口尚人，桧垣靖樹，田中恵太郎，和田 茂，八尋拓也：ITを活用した身体活動モニタリングシステム．産学連携学会第4回大会．東京．2006，6，16．講演予稿集 231-232.
- 10 田中恵太郎：ウイルス発癌と化学発癌の接点としての肝細胞癌の予防．第7回日本がん分子疫学研究会・第29回日本がん疫学研究会合同学術集会(シンポジウム)．広島．2006，5，20．講演集 20.
- 11 田中恵太郎：肝癌予防のために何ができるか？．第65回日本癌学会学術総会(シンポジウム)．横浜．2006，9，28．記事 27.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	田中恵太郎	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	生活習慣病の予防と遺伝子環境相互作用の解明を目指した大規模コホート研究の構築	9,880
教授	田中恵太郎	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	特定領域研究(分担)	分子疫学コホート研究の支援に関する研究	20,000
教授	田中恵太郎	厚生労働科学研究費	第3次対がん総合戦略研究事業(分担)	生活習慣改善によるがん予防法の開発と評価	5,000
教授	田中恵太郎	厚生労働科学研究費	肝炎等克服緊急対策研究事業(分担)	C型肝炎の状況・長期予後の疫学像の解明に関する研究	10,000
助教授	檜垣 靖樹	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究C	酸化ストレスによる骨格筋の糖取り込み亢進メカニズムに関する研究	1,000
助教授	檜垣 靖樹	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(分担)	骨格筋のエネルギー代謝関連の遺伝的要因と運動適応能	800
助教授	檜垣 靖樹	厚生労働科学研究費	循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業(分担)	健康づくりのための運動指針に関する研究—身体活動量増加による生活習慣病の一次予防効果—	2,000
助手	松永(原)めぐみ	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	若手(B)	地域住民の生活習慣, 身体活動量, 遺伝的素因と肥満, 糖尿病の関連についての疫学研究	1,700
助手	松永(原)めぐみ	厚生労働科学研究費補助金	新興・再興感染症研究(分担)	インフルエンザをはじめとした, 各種の予防接種の政策評価に関する分析疫学研究	1,020
助手	松永(原)めぐみ	厚生労働科学研究費補助金	がん臨床研究	がん予防に資する未成年等における包括的たばこ対策に関する研究	22,500

環境医学分野

著書

- 1 彌富美奈子：(株)SUMCOにおけるストレス軽減を目指した作業環境改善活動。中央労働災害防止協会 編：事業場におけるストレス対策の実際—ストレスの把握から職場環境改善活動 44-48。2006。

- 2 友国勝麿 ほか：化学物質による食中毒(鉛)第2版。日本食品衛生協会：食中毒予防必携。2006。

原著

- 1 市場正良：過重労働対策。かささぎ。2006。16, 10-11。
- 2 Ichiba M, Matsumoto A, Kondoh T, Horita M, Tomokuni K.: Decreasing urinary PAH metabolites and 7-methylguanine after smoking cessation. Int Arch Occup Environ Health. 2006. 79, 545-549.
- 3 Ogawa M, Isse T, Oyama T, Kunugita N, Yamaguchi T, Kinaga T, Narai R, Matsumoto A,

Kim YD, Kim H, Uchiyama I, Kawamoto T.: Urinary 8-hydroxydeoxyguanosine (8-OHdG) and plasma malondialdehyde (MDA) levels in Aldh2 knock-out mice under acetaldehyde exposure. 44: 1, 179-83, Ind Health. 2006.

- 4 Sakamoto T, Hara M, Higaki Y, Ichiba M, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Tanaka K: Influence of alcohol consumption and gene polymorphisms of ADH2 and ALDH2 on hepatocellular carcinoma in a Japanese population. Int J Cancer. 2006. 118, 1501-1507.
- 5 Sakamoto T, Higaki Y, Hara M, Ichiba M, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Tanaka K.: hOGG1 Ser326Cys polymorphism and risk of hepatocellular carcinoma among Japanese. J Epidemiol. 2006. 16, 233-239.
- 6 Sasaki T, Yoshida K, Shimura H, Ichiba M, Sasahira T, Shimomoto T, Denda A, Kuniyasu H: Inhibitory effect of linoleic acid on transformation of IEC6 intestinal cells by in vitro azoxymethane treatment. Int J Cancer. 2006. 118, 593-599.

学会発表

国際学会

- 1 市場正良：白血球 DNA 付加体による発がん物質暴露評価。環境因子，特に遺伝性発がん物質の閾値。神戸。2006，3，16。抄録集 32。

全国規模の学会

- 1 市場正良：職業性多環芳香族炭化水素類暴露者の分子疫学的研究。第36回生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会。仙台。2006，5，12。産衛誌 48：253。
- 2 市場正良，山下善功，近藤敏弘，松本明子，友国勝麿，小川康恭，毛利一平，斉藤宏之，平田 衛，中田光紀，北村文彦：焼却炉作業者の多環芳香族炭化水素類曝露調査2。第79回日本産業衛生学会。仙台。2006，5，10。産衛誌 48：635。
- 3 市場正良，松本明子，堀田美加子，小山倫浩，川本俊弘，友国勝麿：アルコールによる多環芳香族炭化水素 DNA 付加体形成への影響(2)―飲酒は発がんを促進するか。第76回日本衛生学会。宇部。2006，3，27。日衛誌 61：280。
- 4 彌富美奈子：企業におけるストレス対策の報告。第79回日本産業衛生学会。仙台。2006，5，11。産衛誌 48：669。
- 5 近藤敏弘，中西祐子，東原里美，新開博子，山下善功，松永阿由美，蒲池将史，市場正良，宮島徹，友国勝麿：佐賀環境フォーラムにおけるシックスクール問題への取り組み(2)。第75回日本衛生学会。宇部。2006，3，26。日衛誌 61：286。
- 6 松本明子，市場正良，堀田美加子，武藤文博，一瀬豊日，小山倫浩，川本俊弘，友国勝麿：不活性型 ALDH2 により飲酒によるトランスアミンナーゼの上昇が抑制される可能性。日本衛生学会総会。山口。2006，3，25。日衛誌 61：293。
- 7 松本明子，市場正良，堀田美加子，川本俊弘，友国勝麿：不活性化 ALDH2 保持者で飲酒時に肝細胞壊死が抑制される可能性。第34回有機溶剤中毒研究会，近畿産業衛生技術研究会。大阪。2006，12，2。産衛誌 49。
- 8 山野優子，原 邦夫，市場正良，花岡知之，潘 国偉，市場正良，高橋 謙，中館俊夫：コークス

炉作業者の多環芳香族炭化水素類の曝露濃度と尿中代謝物の関係. 第78回日本産業衛生学会. 仙台. 2006, 5, 10. 産衛誌 48:631.

地方規模の学会

- 1 渡辺良子, 木下直美, 河野久仁子, 諸岡由美子, 家永佐智子, 三浦一美, 國部恵子, 市場正良: 産業看護業務分析表の作成とその利用—佐賀県産業保健研究会の活動—. 日本産業衛生学会九州地方会. 久留米. 2006, 7, 1. 抄録.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教授	市場 正良	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	アルコールは発がんを促進するか	1,000
助教授	市場 正良	平成18年度厚生労働省がん研究助成金	(分担)	環境化学発がん物質の曝露評価法の開発及び疫学研究への応用による発がんリスク評価に関する研究	1,000
助手	松本 明子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	アルデヒド脱水素酵素2遺伝子多型が飲酒による肝薬物代謝酵素活性の変動に及ぼす影響(遺伝子改変マウスを用いた検討)	1,300

法医学分野

著書

- 1 木林和彦: 学生のための法医学, 第6版. 93-106, 南山堂. 2006.

総説

- 1 木林和彦: 軀幹の損傷. 日本法医学雑誌 60: 2, 136-145, 2006.

原著

- 1 木林和彦: 事故発生要因の調査研究. 31: 2, 95, IATSS Review. 2006.
- 2 木林和彦: 高齢者在宅医療における法律的課題への対応. 41, 142-148, 財団法人明治安田こころの健康財団研究助成論文集. 2006.
- 3 木林和彦: 法医神経病理学 forensic neuropathology. 31: 3, 74-80, IATSS Review. 2006
- 4 Shojo H, Kibayashi K.: Changes in localization of synaptophysin following fluid percussion injury in the rat brain. 1078: 1, 198-211, Brain Research. 2006.

学会発表

全国規模の学会

- 1 木林和彦: 法医神経病理学 forensic neuropathology. 国際交通安全学会. 東京. 2006, 6, 27.
- 2 木林和彦, 猩々英紀: 介護放棄が疑われた若年成人の死亡例に見出された脳腫瘍の診断と解釈. 第14回法医病理勉強会. 福岡. 2006, 4, 26. 法医病理 12: 4-5.
- 3 猩々英紀, 木林和彦: 頭部外傷による脳内シナプトフィジンの変化と神経細胞変性の関係. 第90次日本法医学会総会. 福岡. 2006, 4, 28. 日法医誌 60: 37-37.

地方規模の学会

- 1 木林和彦：熱中症マウスの脳内病態解析。第56回日本法医学会九州地方会。那覇。2006，11，18。
講演要旨集 17.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	木林 和彦	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	熱中症の脳内病態解析による法医神経病理学の展開	1,900
教授	木林 和彦	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究	溺水に特徴的な脳病理所見の実証研究	2,500
教授	木林 和彦	(財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団	研究助成金	ベッド上で生じる死亡事故の集計と予防方法の考案	1,000
教授	木林 和彦	(財)慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団	研究助成	地域社会における高齢者虐待防止のための基礎調査	700
助手	猩々 英紀	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	頭部外傷によって発現が変動する遺伝子の網羅的解析	1,100
教授	木林 和彦	平成18年度佐賀大学中期計画実行経費	基盤教育研究 実行経費	NBC (nuclear, biological and chemical) テロに関する医学教育	480

国際医療コミュニケーション科学分野

原 著

- 1 針貝邦生：タントラヴァールツィカ聖伝章和訳研究(5)。南アジア古典学 1，21-45。2006。
- 2 Harikai K.: Sanskrit Text of the Tantravarttika, Adhyaya 1 Pada 4, collated with four Manuscripts. Annual Report of Medical Anthropology and Humanity 1, 1-57. 2006.
- 3 池田豊子，日高三郎：19世紀西欧の医師の権力とエチケットの役割の分析(3)。比較文化研究 73，57-65。2006。

学会発表

その他の学会等

- 1 高野吾朗：『天皇の肖像』（多木浩二・著、岩波現代文庫）について。ライオンとペリカンの会。早良区市民センター（福岡）。2006，2，17。

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
助教授	針貝 邦生	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	タントラヴァールツィカ祭名章の研究	700